

3月30日(水)発行

好評につき
3年目も!!

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊



「最響の夏」がやってくる!

モデル：青木篤子（東京交響楽団首席ヴィオラ奏者）

12回目を迎えた「フェスタサマーミュージック KAWASAKI」。2016年は「最響(さいきょう)の夏」をテーマにお贈りします。メインビジュアルは爽やかにスカッとほじける音楽体験を表現しました。

今年はジョナサン・ノット(7/23東響)にはじまり、曾我大介(7/24ニューシティ)、上岡敏之(7/25新日本フィル)、チョン・ミョンファン(7/27東フィル)、小泉和裕(7/31都響)、川瀬賢太郎(7/31@しんゆり)、8/5神奈川フィル)、飯守泰次郎(8/10シティ・フィル)、秋山和慶(8/11東響)と各オケのシェフの競演が見所です!

しかも今年は比較的盛り上がる曲が多く、ラインナップを見ているだけでワクワクしてきます。

また、読響は名アレンジャーたちによる懐かしのジャズ&シャンソン(7/28)、N響はヒーローもの(7/30)と、世代を超えて愛される名曲もラインナップされています。

なかなか聴けない知られざる名曲も紹介します。ベートーヴェンと同時代の作曲家クーラウのピアノ協奏曲(8/7日本フィル)と、ブロードウェイで活躍したナサニエル・シルクレットのトロンボーン協奏曲(8/11東響)はいずれも知らない曲

だからと敬遠するのはもったいない佳曲。こだわりプログラムは何といてもノットの「3つの風景」(7/23)、それに川瀬のモーツァルト→R.シュトラウスの「愛」(8/5)プログラムでしょう!

その他、今年も「開演前のおまけプログラム」やチケット提示による飲食店の優待サービス、そしてこの「ほぼ日」など、コンサート以外のお楽しみも取り揃えて皆様のお越しをお待ちしております。チケット発売は4月27日から。今年も、どうぞご期待ください!



オープニングはジョナサン・ノットによるこだわりのプログラム!
(7/23東京交響楽団)

4.27

チケット一般発売は
4月27日(水)10時から!



え、いいの!?
三大バレエがなんと800円から!
(8/4 洗足学園音楽大学)



日本最大級のパイプオルガンで聴く
「真夏のパッハ」
(8/6 松居直美リサイタル)

【お知らせ】フェスタサマーミュージック KAWASAKI は、低価格を維持するため今年には総合プログラムを廃止し、簡素化いたします。

フェスタサマーミュージック KAWASAKI 2016 は未来を見据えた音楽祭です

フェスタサマーミュージック KAWASAKI は、コンサートだけでなく人材育成や子どもたちに夢を与える活動も一緒に行っている総合音楽祭です。2つの音楽大学の公演、公募で集まった子どもたちの「かわさきジュニアオーケストラ」に加え、企画応募による若手演奏家のミニコンサートで若い音楽家たちにステージを提供しています。また、ファミリーコンサート(7/24ニューシティ)、「イツ・

ア・ピアノワールド」など子ども向けに企画した公演、小学生から25歳までの学生対象のチケット優待(ヤング券)も行っています。小学生がプロデューサーになって東響メンバーと作るコンサートや、東芝未来科学館とのコラボで行う音と科学の実験室「夏ラボ」も会期中に実施。「音楽のまち」の芽を育てます。

